

# 2004年度 原子核三者若手夏の学校三者総会議事録

文責：2004年度 三者事務局（東北大学）

2004年8月10日

## 1 2004年度三者準備校（金沢大学）からの報告

この1年間の活動が報告された。追加の報告として、

- 参加人数 素粒子パート 172人、原子核パート 85人、高エネルギーパート 24人。
- ポスターが届いていない研究室があった。送り方に問題があった。
- ホテル側からインターネット使用料として6日間で3万円を請求されたため支払った。

## 2 2004年度三者センター校（東京大学）からの報告

この1年間の活動が報告された。決算の最終版が秋の学会での三者総会で提出される。また、夏の学校に触発されて論文を書いた場合に、基研への謝辞と論文登録のお願いがあった。

予算に関して質疑応答があったので以下に載せる。

質問：予算申請していない役職校になぜ予算を回したのか？

回答：例年、その役職校は予算申請しているため、今年は忘れていただけだと思い、予算を回した。

質問：予算の見直しや修正などをセンター校は各役職校に求めているのか？

回答：修正などは求めていない。黒字が生じた場合旅費補助で調整し、繰越金額は適正なものに抑える。

意見：予算を申請する段階で実際どれくらいかかるか分からないため多めに予算を申請せざるを得ない。

意見：特に各役職校で黒字・赤字の概念は無く、全体で大きな黒字・赤字が出なければ問題は無い。

## 3 2004年度三者事務局（東北大学）からの報告

この1年間の活動が報告された。また、以下の役職校の選定が行なわれ、承認された。

2007年度三者センター校	北海道大学
2007年度三者準備校	新潟大学
2006年度三者事務局	神戸大学
2006年度三者ML・HP管理校	早稲田大学
2006年度三者名簿校	広島大学

その後の議論で、素粒子パートの役職の引き継ぎがうまくなされていないことが発覚し、それに関して議論がなされた。以下まとめると、

問題点として、

- 今年は（も）素粒子パート総会が開かれなかった。
- それは引き継ぎの不備によるものである。
- どのように役職校を決めるか素粒子パート参加者で一致されていない。

一方、原子核パートや高エネルギーパートではそのような問題が生じておらず、素粒子パートのみの問題であったため、三者総会後素粒子パートのみで話し合ってもらうことにした。

このような議論の中、改めて確認されたことを羅列しておく。

- ここ数年間の役職校の一覧（今後の予定も含む）を三者事務局のホームページに掲載する。
- 役職の引き継ぎ連絡はその年度の代表者が責任をもって次年度の役職担当大学に行なう。また、次年度の役職校代表者の連絡先を三者センター校に知らせる。
- 三者センター校はそれらをもとに役職校代表者を役職メーリングリストに登録する。

#### 4 2005年度三者準備校（大阪大学）からの報告

来年の夏の学校が8月6日～8月11日、東京の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催される予定であることが報告された。

\*後日、上記日程で会場の予約を取ることが出来た。

以上。